

平成 14 年度 教育の情報化フォーラム 開催要項

開催日・平成 14 年 6 月 21 日（金）～22 日（土）

会 場・関西学院大学 上ヶ原キャンパス
兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155 TEL:0798-54-6100（代）

主 催・社団法人 私立大学情報教育協会

後 援・文部科学省

開 催 趣 旨・情報技術を活用した教育方法、教育内容、授業の支援体制、ネットワークの管理体制など、今後の授業改革の視点から教育の情報化にかかわる問題についてテーマ別に討議を行い、対応策を考えていくことを目的とし、開催します。

参加対象 大学・短期大学の教職員、賛助会員

参 加 費	6 月 21 日（金）	6 月 22 日（土）
加盟大学・短期大学・賛助会員	10,500 円	9,450 円
非加盟大学・短期大学	15,750 円	14,700 円

申込方法 別紙「参加申込用紙」に記入の上、郵送または FAX にて送付下さい。

申込締切 6 月 10 日（月）

参加費振込 <キャンパスや部署で一括申込みの場合>

参加費振込もできるだけ一括し、振込依頼人名には大学名の他にキャンパス名もしくは部署名を入れて下さい。

<個人申込みの場合>

参加費の振込依頼人名には、大学名と氏名を両方入れて下さい。

振込先： あさひ銀行 市ヶ谷支店 普通口座 0 0 5 4 4 0 9

(シャ) ショウキョウ

名義人 （社）私情協

千代田区九段北 4-1-14 No.1 山崎ビル 4F TEL:03-3261-2798

*できるだけ 6 月 7 日（金）までをお願いいたします。

*振り込まれた参加費は原則として返金しません。また、無断欠席で参加費未払いの場合は、後日請求させていただきますのであらかじめご了承下さい。

送付・問い合わせ先

社団法人私立大学情報教育協会 事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-14 No.1 山崎ビル 4F

TEL:03-3261-2798 FAX:03-3261-5473 E-mail:info@shijokyo.or.jp

開催要項・申込用紙 <http://www.shijokyo.or.jp/LINK/forum/forum2002.htm>

<フォーラム 2 日目午後に第 10 回短期大学部門検討会議も開催します>

詳細はこちら <http://www.shijokyo.or.jp/LINK/tandai/tandai2002.htm>

プログラム

6月21日(金)

13:30 開 会

開会挨拶

戸高 敏之会長（社団法人 私立大学情報教育協会）

会場校挨拶

平松 一夫氏（関西学院大学学長）

運営委員紹介

13:40 基 調 講 演 「e-ラーニング時代における教育の情報化と今後の課題」

講師：徳田 英幸氏（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員長
社団法人 私立大学情報教育協会常務理事）

大学では学内の情報インフラが整備され、教育への情報技術の活用が過去 10 年間で大きく進展してきた。一方、現実には様々な問題があり、大学教育と情報技術の関わりについてより一層の理解が必要になってきている。また、海外の大学では、インターネットや新しい情報技術を利用した様々な戦略的な取り組みがなされてきており、国内の大学の世界に向けた対応も望まれている。

ここでは、大学教育の情報化における様々な問題について提議するとともに、慶應義塾大学や海外の大学での事例を紹介しながら、情報インフラ整備、e-ラーニング、電子著作物管理、サイバー・キャンパス構想に向けての今後の課題について議論したい。

14:50 私情協の活動報告

15:30 テーマ別自由討議（4 テーマ同時に実施。途中 10 分間休憩）

A 大学におけるネットワークセキュリティ

課題提起者：山根 勝司氏（日本アイ・ビー・エム株式会社
ネットワーク・サービス事業部 ネットワークコンサルティング
I C P ネットワーク・デザイン・コンサルタント）
根岸 征史氏（日本アイ・ビー・エム株式会社
ネットワークセキュリティ担当コンサルタント）

今日のインターネットは膨大な規模になり、なおもその成長を続けている。その一方で、セキュリティ問題も増大し、ネットワーク管理者はその対応策に追われている。キャンパスネットワークは、教育研究目的という性質上多くの不確定要素が含まれるが、それがセキュリティ管理業務をますます重負担にしている。精度の高いサービスを効率よく提供するにはセキュリティ対策ツールの導入のみならず、適格なポリシーやガイドラインを設定し、それらを組織全体に浸透させなければならない。本分科会では、ネットワーク認定・侵入検知システムの紹介を中心に、キャンパスネットワークのセキュリティ管理について討議する。

<キーワード> ネットワーク管理、セキュリティ対策、ネットワーク認証システム、ネットワーク管理ツール、キャンパスネットワークマネジメント

B 新たな教育システム：遠隔 e-Learning の試み ～通信教育での実践と今後の展開～

課題提起者：後藤 順久氏（日本福祉大学経済学部助教授）
栗原 英樹氏（日本福祉大学通信教育部ラーニングアドバイザー）

I T時代の到来により、従来の対面教育に代わる情報通信技術を活用した教育が模索され始めてきている。特に、インターネット技術の発展に伴い教材のダウンロードも高速化され、Web 上に教材を展開する大学が増加してきている。こうした状況の中、キャンパスに行かなくても授業を受けられるバーチャルキャンパス環境が考えられてきている。本分科会では、通信教育部においてバーチャルキャンパスを整備し、スクーリング以外ではキャンパスに行く必要がなく、時間と距離を意識しない教育を先進的に実施されている大学の例を成果や問題点も併せて紹介いただき、通常の通学生に対する発展を含めて参加者と共に討議を深めていきたい。

<キーワード> 遠隔教育、e-Learning、バーチャルキャンパス、通信教育

C 電子化教材作成のための支援環境

課題提起者：高橋 誠氏（大阪学院大学庶務課メディア係）
杉山 恵子氏（中部大学学術情報センター）

効果的な授業を行うために、学内 Web ページに教材資料を掲載して学生がいつでも閲覧可能にすることが多くの大学で行われている。しかしながら、テキストや画像だけでなく、音声や映像の編集・制作といったマルチメディアを活用した教材コンテンツを作成することや、教材を Web ページへ登録・更新したりデータベース化して蓄積することは、教員個人の自助努力や試行錯誤に負うところが多く、不慣れた教員には多大な負担となっている。そのために Web 作成ツールなどが使用されるが、その利用にあたっては専門的なサポートが必要となる。本分科会では、これらの電子化教材作成・管理の支援環境に関して、先進的な二つの大学の実施例を紹介して頂き参加者と共に討議を深めていきたい。

<キーワード> Web 教材、教育用 Web サーバ、Web 作成ツール、教育支援システム、教員向けヘルプデスク・講習会

D デジタル・キャンパスと統合メディアセンターの役割と展望

課題提起者：濱中 正邦氏（青山学院大学事務システム室室長）

大学における教育の情報化は、ネットワークを重視したオープン型へと移行しつつあり、同時に学術コンテンツ・サービスのネットワーク上での展開が求められてきている。例えば、計算センター系部門とネットワーク系部門、さらに図書館部門を「メディア・センター」として再編・統合し、デジタル・メディアを前提とした新しい学習環境（学習空間）作りを目指している大学が見受けられる。

今回は、2003 年 4 月に開校される青山学院大学の新キャンパスの核となっている「メディア・センター構想」の紹介を受けながら、その情報化システム（CYBER UNIVERSITY SYSTEM）や教材開発と運用支援のあり方などについて討議する。

<キーワード> ・バーチャル・ユニバーシティ、サイバー・キャンパス、インテリジェント・キャンパス
・遠隔授業、e-Learning、授業のデジタル化、Web化
・バーチャル・オフィス、情報教育支援、教務支援
・新しい「教育モデル」 など

18:30 **懇親会** (19:30 終了)

6月22日(土)

10:00 **テーマ別自由討議** (4テーマ同時に実施。途中10分間休憩)

E ネットワーク利用とユーザー教育

課題提起者：江澤 義典氏 (関西大学総合情報学部教授)

中芝 義之氏 (関西大学情報処理センターシステム管理課主任)

ネットワークの普及とともに、迷惑メールやウィルスソフトなど様々な社会問題が報道される機会が増えてきている。大学においても、情報倫理教育は必要であり、ネットワークの運用管理や利用規定などの整備が必須となっている。また、ユーザーにネットワークの不適切な利用をさせないための事前教育や事前措置とともに、運用規則に反する事件が発生した場合の対策も重要である。関西大学のネットワーク運用管理や利用に関する規程、ユーザー支援体制、ユーザー教育、新しい認証システム等について課題提起者から紹介いただき、それをもとに討議する。

<キーワード> ネットワーク利用支援、倫理教育、利用規程、管理体制、認証システム

F 新たな教育システム：遠隔 e-Learning の試み

～キャンパス間・大学間授業とインターネット教育への展開

課題提起者：宮崎 耕氏 (同志社大学経済学部教授)

大学間の授業連携・単位互換などの動きの中で、大学間の遠隔共同授業の試みも行われるようになってきた。また、インターネットを利用した対個人の遠隔授業も正式に認められるようになった。本分科会では、遠隔授業やe-Learningについて豊富な経験をお持ちの課題提起者から、遠隔テレビ会議システムなどを利用した教室間の遠隔授業、インターネットを利用した個人対応の授業について、その効用を説明いただき、運用上の諸課題についても明らかにしていただく。優れたコンテンツと高速の通信環境があれば、ハコモノとしての大学はいらなくなるのではないかという考えもある。現時点でのe-Learningの評価とともに、このような将来に向けての論点についても討議したい。

<キーワード> 遠隔教育、e-Learning、大学間連携、インターネット教育

G 教材の電子化促進に向けた権利処理問題

課題提起者：紋谷 暢男氏 (成蹊大学法学部教授)

井端 正臣事務局長 (社団法人私立大学情報教育協会)

教材の電子化促進に向けて、知的所有権保護の観点から、素材データの取り扱いや作成教材に対する権利処理について、個々の教員あるいは大学等の組織として適切に対処していくことが求められている。本分科会では、まず、私情協の事業として進行中である「電子著作物権利処理事業」について報告いただくとともに、「教材の電子化促進のための権利処理への留意点」について紹介いただき、今後の権利処理問題に対する認識を深めていきたい。また、参加者の方々から、教材の電子化に伴う権利処理について、様々な疑問点や相談事項を事前に提示いただき、それらに基づいて具体的な対処法や解決策等について論議を深めていきたい。

<キーワード> 教材の電子化、知的所有権、権利処理問題、権利処理への組織的対応

H 新教科「情報」—— 教員養成の現状と課題

課題提起者：石堂 常世氏 (早稲田大学教育学部教授)

西之園晴夫氏 (佛教大学教育学部教授)

次年度から始まる高校の新教科「情報」を担う教員養成は、多くの大学で行われるようになってきたが、各大学での取り組みが具体化するにつれて様々な問題点や課題も明らかになりつつある。本分科会では、「情報」の教員養成課程申請のプロセスや認可を受けてからの状況について、早稲田大学の取り組みを紹介いただく。また、教科「情報」で期待されている教育内容や中等教育における情報教育の現状等を踏まえつつ、大学における教員養成に関わる課題について、佛教大学における状況を紹介いただき、課題提起者、参加者相互に意見交換を行い、理解を深める。

<キーワード> 教員養成、課程認定、教職科目、教科「情報」、情報A、情報B、情報C、

12:40 **昼食** (会場にて用意いたします)

13:10 **キャンパス見学** (2キャンパスで行う予定ですので、見学希望のキャンパスを選択いただきます。)

西宮上ヶ原キャンパス ●フォーラム会場となるキャンパス。神学部、文学部、社会学部、法学部、経済学部、商学部の6学部と言語コミュニケーション文化研究科があり、時計台と中央芝生を中心とした美しいキャンパス。

見学コース 1997年に完成した新大学図書館、本年から利用を開始したメディア・研究棟を予定。

神戸三田キャンパス ●総合政策学部の開設とともに1995年にスタートしたキャンパス。理学部が昨夏に西宮上ヶ原キャンパスから移転し、本年4月からは理工学部名称変更するとともに、情報科学科、生命科学科を新設。同時に、総合政策学部でもメディア情報学科が増設され、関西学院大学での情報関係研究施設が集積されている。上ヶ原以上に美しく整備されたキャンパス。 **見学コース** 情報関係の新学科および図書メディア館を予定。

(注) 西宮上ヶ原キャンパスより1時間程度バスで移動のため、申込み先着順で100名に限定。見学後はJR宝塚線「新三田駅」で解散。